

平成24年度（2012年度）日本留学試験

日本語

（125分）

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～29
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**、**2**、**3**、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*				
名前											

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400字から500字で書いてください
(句読点を含む)。

- ① 世界の中には、生活に必要な水を得ることが難しい地域や、飲み水の安全性に問題がある地域があります。

このような水に関する問題について、あなたの知っている国や地域の状況を説明してください。

そして、その水に関する問題にどのように対応すればよいと思うか、あなたの考えを書いてください。

- ② ストレスと健康は深い関係にあると言われています。

現代社会における、ストレスと健康の関係について説明してください。

そして、健康に暮らすためにはどうすればよいと思うか、ストレスと関連づけながら、あなたの考えを書いてください。

——— このページには問題はありません。 ———

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 次の文章で筆者は、グラフや記号による表示はどのようなものが望ましいと考えていますか。

1

グラフは情報（数値として得られたもの）を、見るものにとって理解しやすいように、また興味をそそるように、さらには伝えたい内容をアピールするように、視覚的に表現するための方法です。したがって、どんなにインパクトがありデザインに凝ったグラフでも、そのグラフを見る人が、グラフを作った人の意図したようにそのグラフを読むことができなければ意味がありません。…（略）…

グラフに限らず、記号などを使って、説明を簡略的に表示する場合に最も気をつけなければならないことは、それを見る人がその記号を十分理解できるか、ということです。たとえば、非常口を示すのに、「自分の作った記号のほうがわかりやすいだろう」と新しい記号を作って自分の店に表示したとしたら、その記号が奇抜な記号であればあるほど、お客さんは戸惑ってしまうことでしょう。

（山本義郎『レポート・プレゼンに強くなるグラフの表現術』講談社）

1. インパクトがあってデザインに凝っているもの
2. 作成者の工夫がより多く盛り込まれているもの
3. 作成者の意図通りに誤解なく読まれるもの
4. できるだけ簡略化されたもの

II 次の文章で下線部「当然のこと」とありますが、なぜ当然なのですか。

2

動物には、種によってそれぞれの生きかたがあり、「言い分」がある。猫は群れないでひとり生きてきたので、ほくたちのいうことをなかなか聞かない。一方、犬は集団でえものを捕ることで生きてきた。集団であれば、だれがリーダーであるかが問題となる。狩をするには、個々が勝手に行動しては捕まるものも逃がしてしまう。リーダーの統率の下、協力してはじめて大きなえものが捕らえられる。飼い犬はリーダーが頼りないと感じると、自分がリーダーになろうとする。そうした犬は、散歩のときにはひもをひっぱり、吠えてものを要求したりする。自分より順位が下だと思えば、飼い主のことを聞かなくてよいと考える。人からみれば「問題」と思える行動も、この犬からすれば当然のことをしているまでなのである。

(日高敏隆『なぜ飼い犬に手をかまれるのか』PHP研究所)

1. その犬は、飼い主ではなく自分がリーダーだと考えたから
2. その犬は、自分では人間の役に立つことをしているつもりだから
3. その犬は、集団で互いに協力するのが何よりも重要だと感じたから
4. その犬は、集団ではなく個別に行動した方がよいと判断したから

III 下線部「おとなにとっても、子どもに絵本を読むことはとてもよい」の理由として、最も適当なものはどれですか。

3

子どもは幼ければ幼いほど、親や保育者など「読んでくれる人」を必要とします。幼児がひとりで絵本を楽しむことはゼロではありませんが、絵本に込められたメッセージを読み取るのは、言葉の力の未熟な幼児にはなかなか難しいものです。内容をよく知るためには「説明をしてほしい」「読んで」とおとなに頼まなければなりません。この「お願いする」行為をとおして、子どもは人とのかかわり方（一種の社会的行動）を学ぶでしょう。そして、読んでくれるおとなとつながりをもちます。

おとなにとっても、子どもに絵本を読むことはとてもよいのです。特に幼児は絵本を読んでもらいながら感想を言ったり、文章を覚えてさかんに口まねしたりします。それを見ていろいろと感じませんか？「あっ、この子はこんなことを考えているんだ」と、行動を見ているだけではわからない子どもの心が見えてきます。

（永田桂子『よい「絵本」とはどんなもの？』チャイルド本社）

1. 子どもに絵本の読み方を教えることができるため
2. 子どもに社会性を教えることができるため
3. 子どもの関心を引きつけることができるため
4. 子どもが考えていることを知ることができるため

IV 次の文章は、これから論文を書く人に向けて書かれたものです。下線部「決して特殊な作業ではないのである」の理由として、最も適当なものはどれですか。 4

日常生活において、資料を集め、それを整理しながら考え、何らかの結論を導き出すという作業は不可欠である。生活を充実したものにしようとするなら、こうした作業なしにすまずことはできない。

例えば、高校生は受験する大学の入学試験の傾向を検討する必要がある。大学生の就職活動も会社に関する情報収集から始まる。… (略) …

特に意識することなく、日常において、これらの作業が行われる。そして、… (略) …それぞれの作業の結論が表現されることになるのである。

これから取り組もうとしている論文作成も、基本的には、以上に例示した作業と異なるものではない。ただ、日常生活の作業は結論を導き出すことが肝心なのに対し、論文作成は作業プロセスが重視されるという違いがある。

したがって、論文を作成する作業とは何かという問いには、日常の作業と同様に、資料を集め、整理しながら思考し、何らかの結論を導き出し、その上で、結論だけではなく、作業プロセスを論述という形で表現することであると答えることができる。決して特殊な作業ではないのである。

(花井等他【論文の書き方マニュアル】有斐閣)

1. 論文の作成は、だれでもできる簡単なことだから
2. 論文は、日常生活上の作業のように、結論さえ提示できればよいから
3. 日常生活でも情報の収集と整理、結論の導出などの作業をするから
4. 日常生活で行っている作業をまとめれば、論文になるから

V 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

5

科学はときとして、わかったと思っていたことがそれを否定する証拠によって振り出しにもどることもある。

かつて、人類進化の物語は、地球上に人類は常に一種類しかおらず、次々と新しい種に進化していったと、きわめて明快に語られていた。現在では、20種類近い人類と長期間にわたる複数種の共存の事実、そして種同士の関係性は不明瞭^{ふめいりょう}、という混沌^{こんとん}としたものになっている。新しい資料がもたらす学説の書き換え、これは過去のいのちを扱う学問のプロセスのひとつの特徴でもあろう。だから面白いのである。

人類進化の再構築は、資料の化石が多ければ多いほど、わからなかったことが解明されていくはずだと一般には思われているかもしれない。ところが、実際はそうではない。過去に語られた人類進化の物語は、発見された資料が少なかったからこそ明快でわかりやすかった。…(略)… ところが、多くの化石が発見され、物語の登場人物が増えるごとに、人物関係について謎^{なぞ}は深まるばかりで、これまでの説にあわない疑問符がとたんに増えてくる。

(内田亮子『生命をつなぐ進化のふしぎ』筑摩書房)

1. 科学的な研究手法の進歩で、過去にいた複数の人類の関係が明瞭^{めいりょう}になってきた。
2. 化石があまり発見されていなかったころは、人類の進化について謎^{なぞ}ばかりだった。
3. 多くの化石の発見により、人類の進化についてわからないことが増えた。
4. 人類は一つの祖先から進化してきたという説が、現在でも支持されている。

VI 次の文章は筆者が成人（二十歳）になる若者のために書いた文章です。「本物の孤独」の意味として、最も適当なものはどれですか。

6

孤独には、「本物の孤独」と「偽物の孤独」があります。

一週間、誰とも話さなかったから孤独なのではありません。

誰とも話さなくても、メールをやりとりし、インターネットで会話していれば、それは孤独ではありません。

孤独とは、「一人で自分と向き合う」ことです。例えば、あなたがすてきなアドバイスを受けて、役に立つ本を読んだりしても、一人でかみしめる時間がなければ、それはあなたのものにはなりません。今聞いた役に立つ情報を、右から左に伝えるだけでは、あなたのものになっていないのです。

二十歳を過ぎて出会う解決不可能な問題は、親に判断を任せない限り、自分で解決するしかありません。が、「偽物の孤独」しか経験してない人は、アドバイスしてくれる人を求めて、ウロウロさまようのです。

ただ、「本物の孤独」の時間を持った人だけが、うんうんとうなりながら問題に取り組むことができるのです。

もし「本物の孤独」を経験したいと思ったら、あなたは、携帯電話の電源を切り、パソコンやテレビから離れて、あなただけの時間を持つ必要があります。

（鴻上尚史「成人するあなたへ」北日本新聞2012年1月7日，共同通信社配信）

1. 友達と一緒にいても、孤独だと感じる事
2. 成人となり、親と離れて一人暮らしをすること
3. 二十歳を過ぎて、重大な問題におつかること
4. いろいろな物事について一人で深く考えること

VII 下線部「負のフィードバック」の例として、最も適当なものはどれですか。

7

われわれの社会は、現在、一定の秩序を持っています。その秩序がいかにして維持されているかという、それは、社会制度が、逸脱を抑止する負のフィードバック機構をそなえているからです。どんな社会制度にも、それが許容しうる適切な範囲があります。年間に数日の欠席ならば問題とされないことも多いですが、数週間の間、適切な理由もなしに、無断欠席したり無許可で欠勤すると、「退学措置」や「退職措置」というサンクション（制裁）につながります。この場合だと、一定の行為（欠席・欠勤）に対して、それが多くなるほど、それをいっそう行なわせないようにする方向へと、社会からの制御が働きます。これが逸脱を抑止する負のフィードバック機構の具体例です。

（後藤将之『コミュニケーション論』中央公論新社）

1. 無断で学校を欠席してはいけないとされていること
2. 年間に数日の欠席であれば、許容されること
3. 長期間無断で学校を欠席すると、退学させられること
4. 病気で学校を休んでも、成績に影響がないこと

VIII 次の文章の内容から、「海が砂漠化している」事態に対する根本的な改善策と考えられるものはどれですか。

8

「海が砂漠化している」と聞くと不思議に思うかもしれない。しかし、日本の周辺で、魚も海藻も生息していない砂漠のような海が増えている。魚や海藻が生きていくためには栄養が必要だが、その栄養は、実は、森林の中で形成される。

自然林では、栄養を多く含む腐植土という土が形成され、この土の中の栄養が河川などを経て海へ供給される。しかし、自然林は減り、産業用の人工林に変わってしまった。近年、林業の衰退から、こうした産業林の手入れが行われず放置されることが増えている。人工林の場合、適切な手入れをしなければ豊かな腐植土は形成されず、したがって海に補給される栄養が少なくなる。また、このような森林は保水力が弱いので大雨の度に土砂が流出し、沿岸の海底を、海藻類が生育しにくい環境にしてしまう。森林の荒廃が海の砂漠化を招いているのである。

1. 魚が増えるように魚を育てて海に放すこと
2. 腐った土を自然林から取り除くこと
3. 豊かな腐植土が形成されるような森林を作ること
4. 雨を利用して土砂が海へ流れるようにすること

IX 次の文章は大学の研修施設の利用申込について書かれたものです。この大学の学生が研修施設を利用するときに必要なことは何ですか。

9

南北大学 研修施設「わかば」の利用申込について

電話 043-273-XXXX

FAX 043-273-XXXX

(1)申込窓口

1号館1階 学生課

(2)予約受付日

教職員…利用日の前々月25日から

学生 …利用日の前月1日から

注) 学生による申込の場合は、代表者の学生証のコピーを提出してください。

(3)予約が受理されたら

利用日の14日前までに、前納金（利用1日目の食費×人数、施設使用料）を持参して、学生課で正式な申込の手続きを行ってください。

利用許可書を発行します。

1. 教職員を通して申し込むこと
2. 申込者全員の身分証明書のコピーを提出すること
3. 使用料等は全員分を一括して銀行口座に振り込むこと
4. 施設を利用する2週間前までに手続きを終えること

X 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

10

IT革命が、ユーザーに何をもたらししてくれるか。ライフプランについて言うと、在宅ワークというだけでなく、週末起業などのサイドビジネスを展開できるようになってきた。ネットワークでビジネスをしようという一方で、自分の趣味ややりたいことを実現しようとの動きも出てきた。

ネットワークの中では、性別、年齢、職業などが分からず、人間関係のフラット化が進む。中学・高校生もすばらしい情報を発信し、大人と肩を並べて考えることができる。

時空間の制約がなくなり、仕事のペースが自分で選べる。そこから、自分がやりたい仕事をやりたいようにやればよいという流れが出てくる。

… (略) …

これまで、情報化とは何なのかということを考えるときに、ビジネスとか社会とか政治とかの枠の中で考えることが多かった。*インフラが整ってきた今、個人がパーソナルなツールとして使いこなすとしたら、どういう使い方ができるだろうか、どういう自己実現につながるだろうか、ということを考える時代になってきたのではないか。

(伊藤淳子「人間関係 フラット化進む」読売新聞2004年3月17日)

*インフラ：生産や生活の基盤を形成する構造物。infrastructureの略

1. 情報化のことはビジネスや政治など一定の枠組みの中で考えたい。
2. ネットワークを使うと、サイドビジネスを展開することができる。
3. 今は、ITを自己実現のための道具として使えるようになった。
4. ネットワークは、性別や年齢などを知られず利用できて便利だ。

XI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

自分で判断するためには、同じ問題について他の人がどのように判断しているか、ということを知る必要がある。他人の判断にすぐに従ったり、あるいは他人の判断ばかり気にしていたのでは、いつまでたっても判断力をつけることができない。しかし、他人の判断を全く気にしないで自分だけで判断していたのでは独断的になる。そこで自分が考えている問題について他の人と議論する必要がある。*ソクラテスではないが、他人と対話することによって正しい判断をすることができるのだ。

その意味で論争するということは判断力をつけるために大切である。ところが日本では論争を喧嘩けんかと間違えている人がある。他人の揚げ足をとったり、相手を非難したりするだけでは、そこからは正しい判断は生まれてこない。そうではなくて、同じ問題についてお互いに批判し合うなかで理論を発展させていくということが必要だ。

(奥村宏『判断力』岩波書店)

*ソクラテス：古代ギリシアの哲学者

問1 下線部「議論する必要がある」とありますが、それはなぜですか。

11

1. 他の人の意見を参考にして、適切な判断をするため
2. 他の人に自分の考えを理解してもらうため
3. 他の人に正しい考えを教えるため
4. 他の人に対して、自分の考えの正しさを証明するため

問2 筆者は、日本での論争にはどのような傾向があると述べていますか。

12

1. お互いに気をつかって何も言わない。
2. 論理的に筋道立てて議論する。
3. お互いに批判し合うなかで正しい判断を見つける。
4. 相手を責めたり攻撃したりする。

XII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

触覚は皮膚によって感じられる、圧力や温度などの感覚と定義できるが、定義によっては温度の感覚は「温感」として除外されることもある。

五感のなかでもっとも「感覚的」で表現がむずかしく、あいまいなのは触覚であろう。色や音は、光や音波の波長で説明できるほか、色名や「ドレミファ……のファ」などと表現できるが、触覚の場合にはそれがむずかしい。そのため、「耳たぶ程度の硬さ」、「大理石のようななめらかさ」、…（略）… などという経験に基づいた表現をすることになる。だから、触覚の共有には経験の共有が不可欠である。また、触覚があいまいな感覚だからといってその重要性が薄れるわけではない。「肌で感じる」ということばがいみじくも語るように、それは他の感覚と補い合って、ものの実体をよりリアルに知るために欠かせない感覚である。

（佐藤洋一郎『里と森の危機』朝日新聞社）

問1 筆者は、触覚はどのように表現されると述べていますか。

13

1. 物理的な定義を用いることで表現される。
2. 触覚以外の感覚にたとえることで表現される。
3. 既知の触覚にたとえることで表現される。
4. 推測や空想に基づいて表現される。

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

14

1. 触覚はあいまいで表現しづらいうえ、実感としてとらえにくい。
2. 触覚はあいまいな感覚なので、重要ではない。
3. 触覚はそれ自体、他の感覚よりも敏感なものである。
4. 触覚はものをよりはっきり実感するために不可欠である。

このページには問題はありません。
次のページに進んでください。

XIII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

観光旅行に行くことと旅に出ることは違います。観光旅行はガイドブックに紹介された場所や多くの人は何度も見聞きした場所を訪ねることです。そこには実際に見たり触れたりする喜びはあるかもしれませんが、あらかじめ知り得ていた情報を大きく逸脱することはありません。一方、旅に出るといのは、未知の場所に足を踏み入れることです。知っている範囲を超えて、勇気を持って新しい場所へ向かうことです。それは、肉体的、空間的な意味あいだけでなく、精神的な部分も含まれます。(A), 精神的な意味あいのほうが強いといってもいいでしょう。

人を好きになることや新しい友だちを作ること、はじめて一人暮らしをしたり、会社を立ち上げたり、いつもと違う道を通って家に帰ることだって旅の一部だと思うのです。実際に見知らぬ土地を歩いてみるとわかりますが、旅先では孤独を感じたり、不安や心配がつきまといます。旅人は常に少数派で、異邦人で、自分の世界と他者の世界のはざまにあって、さまざまな状況で問いをつきつけられることになります。多かれ少なかれ、世界中のすべての人は旅をしてきたといえるし、生きることはすなわちそういった冒険の連続ではないでしょうか。

(石川直樹【いま生きているという冒険】イースト・プレス)

問1 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

15

1. むしろ
2. しかも
3. さらに
4. しかし

問2 下線部「世界中のすべての人は旅をしてきたといえる」のはなぜですか。

16

1. 人は、自分の世界と他者の世界を比べながら生きているから
2. 人は、人生において未知のものに出会い、考えたり悩んだりするから
3. 人は、いろいろなところに移動しながら生活しているから
4. 人は、日常生活の中でも、古いものより新しいものに関心を持つから

XIV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

人間の創造性を飛躍させる媒質というものがある。たとえば石器時代における「石」。「石器時代」という言葉が耳に馴染んでいるせいも、石を使うことがあたかもはじめから決まっていたかのように僕らは錯覚してしまうが、直立歩行を始めた最初の人類にとって「石」は、「手」を用いることそのものを覚醒させる決定的な媒質となったはずである。石の「硬さ」や「重さ」、そして「程よい加工適性」は、直立歩行して自由になった人間の手を創造へと誘う格好の素材であった。硬さや重さは、ものを破壊したり切断したりする意欲を人間にもたらし、その手触りや手応えは、道具を使用する充足感へと人間の感覚を目覚めさせていったはずだ。つまり、「石」が人間の手と感覚を覚醒させ、石器時代を*ドライブさせたのである。

さらに言えば、石器を作るという行為は、ただ作るのではなく、よりよく作る、より美しく作るという意識をも目覚めさせたかもしれない。石で石を**打ちかいて、あるいは石で石を磨いて、先鋭な刃が製作されたわけだが、何万年もの時代を経た今日においてすら、それは十分にその達成に満足していいバランスと完成度をたたえている。発掘された石器の数々を見ていると、そういう感慨を覚えるのである。

(原研哉【日本のデザイン】岩波書店)

* ドライブさせる：動力を与えて動かす。推進する

** 打ちかいて：叩いて砕いて

問1 筆者は、人間と石のかかわりについてどのように考えていますか。

17

1. 人間は、もともと感覚が発達していたので、石を扱うことができた。
2. 石は人間に、手を巧みに使うことを発見させ、創造的な活動へと導いた。
3. 人間は、より目的に合った石を探し得るために、直立歩行へと進化した。
4. 石は人間にとって、ものを破壊したり切断したりする道具にすぎなかった。

問2 下線部「そういう感慨」とは、どのような内容の感慨ですか。

18

1. 当時の人間は現代の人間とはまったく別の感覚を持っていたのではないか。
2. 機能的で美しい物を作ろうという意識が、石器時代にあったのではないか。
3. 石を扱う技術と意識は、時代を経るごとに高まってきたのではないか。
4. 現在に至るまでに、石を扱う技術と意識が衰えてしまったのではないか。

XV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

生物の神秘に満ちた営みは、しばしば私たちを驚かせ、感動させる。生命現象というのは一見複雑でとてもうまくできているように見える。が、実は機械的でほとんど融通が利かないものなのである。

たとえば、アゲハチョウの場合、枯れた枝についたさなぎは茶色に、新しい枝についたさなぎは緑に擬態する。これで鳥の目をごまかし、身を守ることができる。では、アゲハチョウは周囲の色を識別して擬態しているのだろうか。

実は、アゲハチョウはさなぎになるとき、ざらざらしている広い足場の上では茶色になり、つるつるした細い足場の上では緑になるという遺伝子をもっているのである。昔は、アゲハチョウの生息範囲である野外で、ざらざらしているものといえば木の幹や太い枝のような茶色いものばかりだったし、つるつるして細いといえば緑の小枝ぐらいしかなかった。だから、結果的にさなぎの体は周囲の色と同じになり、身を守ることができたのである。しかし、環境が変化し、周囲に多様なものが混在してくれば、そうはいかなくなる。もし、(①)でもつるつるしている細いものが存在し、その上でさなぎになれば、さなぎは(②)になってしまい、身を守ることにならない。アゲハチョウは、その遺伝子によって決められたことをただ忠実に実行しているだけなのである。

私たちはこのようなことを十分理解しておく必要がある。というのも、生命現象というのは遺伝子に基づく機械的な営みなので、人間には大したことがないと思うような、小さな環境の変化でも、他の生物にとっては種の絶滅につながるような重大なことになりかねないからである。

(塚谷裕一『植物のこころ』岩波書店 を参考に作成)

問1 (①) (②) に入るものとして、最も適当な組み合わせはどれですか。

19

1. ①茶色 ②緑
2. ①緑 ②茶色
3. ①茶色 ②茶色
4. ①緑 ②緑

問2 下線部「このようなこと」とはどのようなことですか。

20

1. 生物が擬態して身を守ること
2. 生物は環境の変化に柔軟に対応できないこと
3. 人間が環境を変化させていること
4. 生物は環境の変化に早く順応できること

XVI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

昔も今も、ほとんどの親は、わが子が翌日の学校でどういう物が必要になるかについてはよく知らない。子供を通じてしか、その情報は入らないうえ、子供はしばしば、それをきちんと親に伝えるのを忘れてたりするからである。いくなれば、40人の子供の学級担任は、ほんやりして頼りないメッセージャーを、毎日40か所に派遣しているようなものである。メッセージャーがちゃんと任務を果たしてくれないと、いくらそれぞれの親がしっかりしていても、翌日の学校に必要な物を準備してやることはできない。学校－子供－家族という関係は、必然的に忘れ物が発生しやすい構造であるといえる。ある程度は忘れ物が生じてしまうことを前提にして、子供と学校との両方ができるだけ困らないようにするにはどうするか、を考えた方がいいように思う。

(広田照幸『教育には何ができないか』春秋社)

問1 この文章で述べられている、忘れ物が発生する原因は何ですか。

21

1. 学校に持って来るべき物を、学級担任が子供にわかりやすく伝えないこと
2. 学校に持って行くべき物を、子供が親にきちんと伝えないこと
3. 子供が学校に持って行くべき物を、親が子供に確認しないこと
4. 親が準備した物を、子供が学校に持って行くのを忘れること

問2 筆者は、子供が忘れ物をするという問題について、学校はどうするのがいいと述べていますか。

22

1. 忘れ物をしても学校での活動に大きな支障が出ないように工夫する。
2. 忘れ物をしないように子供たちに常に指導する。
3. 特別な指導はせず、忘れ物をしたという経験をさせる。
4. 忘れ物をしないように、子供ではなく親に直接連絡する。

このページには問題はありません。
次のページに進んでください。

XVII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

組織は毎日繰り返し出現するような仕事に直面したときに、毎回「どうやって解決しようか」などといちいち考えたりはしない。毎回新たに考えるのであれば組織など作ってもそれほどメリットはない。組織を作るメリットが出てくるのは、まさに繰り返し出現する問題を解決する手順やルールがあらかじめ決められていて、各人が自分に割り振られた役割をそれぞれきちんとこなせば、大量の複雑な仕事を驚くほど効率的に、しかも信頼性高く遂行できるというところにある。

1 回その手順とルールの全体＝プログラムを開発し、皆がその実行に慣れ親しめば、その組織は非常に複雑な作業をいとも簡単に成し遂げることができるようになる。かなり高度な仕事を効率的・効果的に遂行する上でプログラムが重要な役割を担うのである。… (略) …

しかし、組織が直面する問題は常に全面的に同じものだとは限らない。世の中にはやはり例外というのが必ずある。類似の例外が多数出てくるのであれば、例外対処もまたプログラム化できるし、一度でも処理したことのある例外は次回からは前例として組織メンバーの記憶に残り、簡単に処理可能である。しかし、あらゆる例外がそのように簡単に処理できるほど世の中は甘くはない。

かなり定型から外れた、新奇性の高い例外が発生した場合、プログラム通りに組織は動けなくなるので、その都度皆で考え、相談しなければならない。しかし全員で相談するのは効率が悪い。だから第一線で働いている人たちが直面した例外事象は、その上司に報告され、その判断によって処理されることになる。その「上司」も判断に迷うようなら、その上の上司に、さらにそのまた上の上司に、というように判断の難しい問題は*ヒエラルキーを上に登って行って解決される。

まず仕事の多くをプログラム化し、そのプログラムで対応できない例外をヒエラルキーによってその都度上司たちが考えて処理する。これが組織設計の基本中の基本である。より複雑な先進的組織は、すべてこの基本から出発し、この基本の上に様々な要素を付加していった結果として生まれるのである。

(沼上幹【組織戦略の考え方】筑摩書房)

*ヒエラルキー：階層制や階級制のこと

問1 下線部「世の中は甘くはない」とは、どのようなことについて述べていますか。

23

1. 世の中には例外が非常に多いため、プログラム化の意味がなくなってきた。
2. 世の中の仕事はプログラム化されており、新しい作業を見つけることは難しい。
3. 世の中には、これまでの経験からでは対処できない問題が起きることがある。
4. 世の中には、どんなに考えても解決できない問題が起きることがある。

問2 ヒエラルキーが有効に機能するのはどんなときですか。

24

1. 組織が大きくて複雑なとき
2. 同じような苦情が多く発生したとき
3. 仕事の量が多くて問題に対応できないとき
4. プログラム化されていない問題が起きたとき

問3 この文章の内容と合っているものはどれですか。

25

1. プログラムとヒエラルキーは、組織が機能するための基本になる。
2. プログラムとヒエラルキーによって、組織メンバーの個性が発揮される。
3. 複雑な先進的組織では、例外が発生すると機能が著しく低下する。
4. 複雑な先進的組織では、上司の役割があまり大きくない。

——— このページには問題はありません。 ———

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

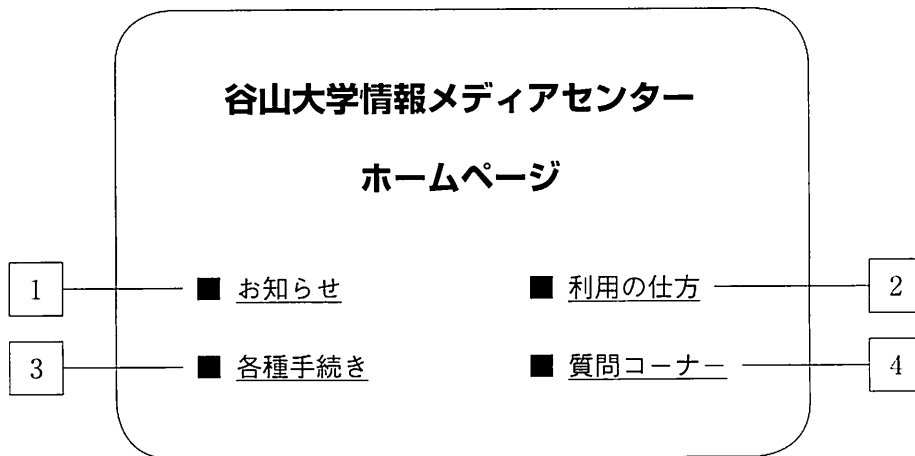
選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1 番の前に、一度、練習をします。

聴読解問題

練習

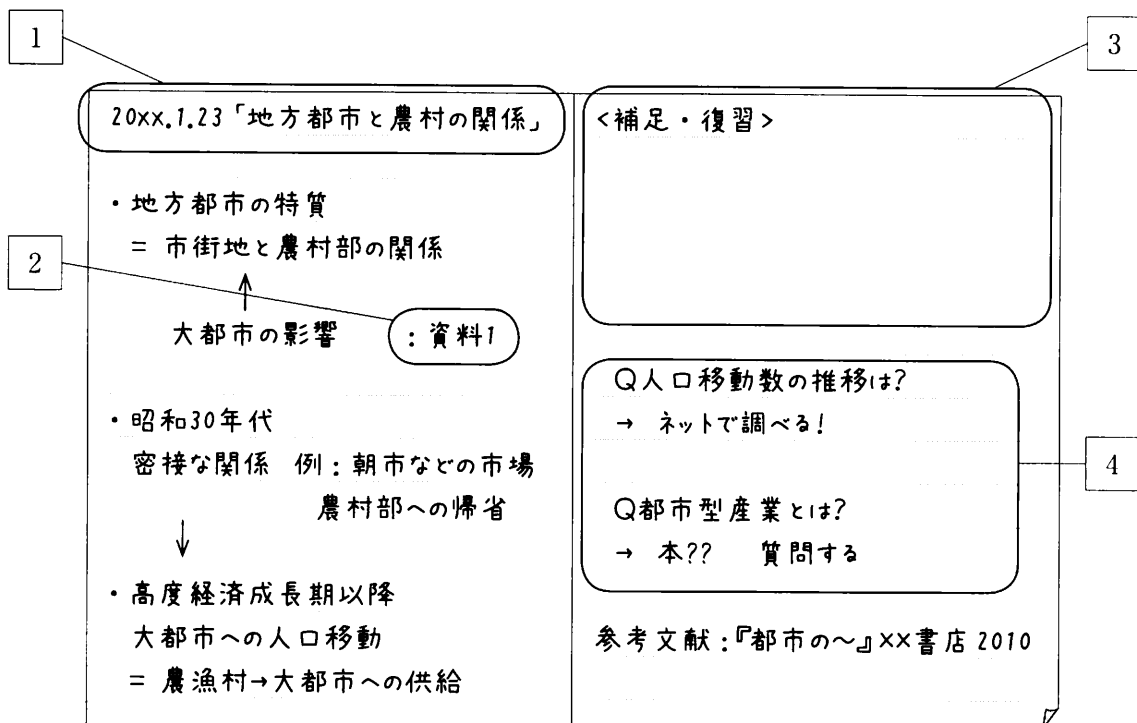
学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1 番

女子学生と男子学生が、男子学生のノートを見ながら話しています。この女子学生がこれから実践すると言っているのは、どの部分ですか。

1

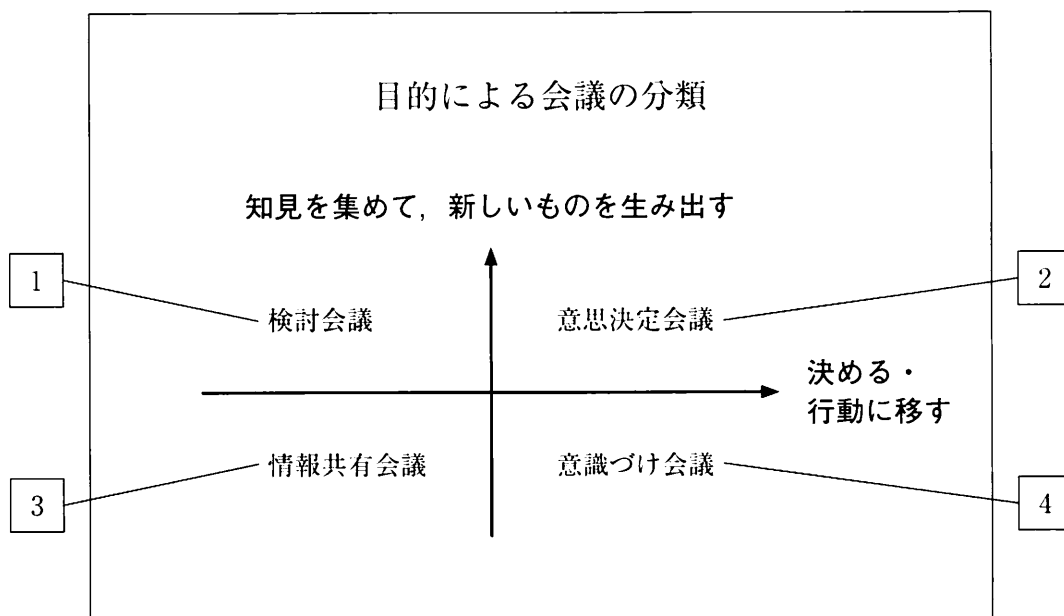


(安部朋世「第2章 大学でのノートのとり方」

橋本修他編著『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』三省堂 を
参考に作成)

2番

先生がコミュニケーション論の授業で、会議の目的について話しています。この先生が必要ないと考えている会議は、図のどれですか。 2



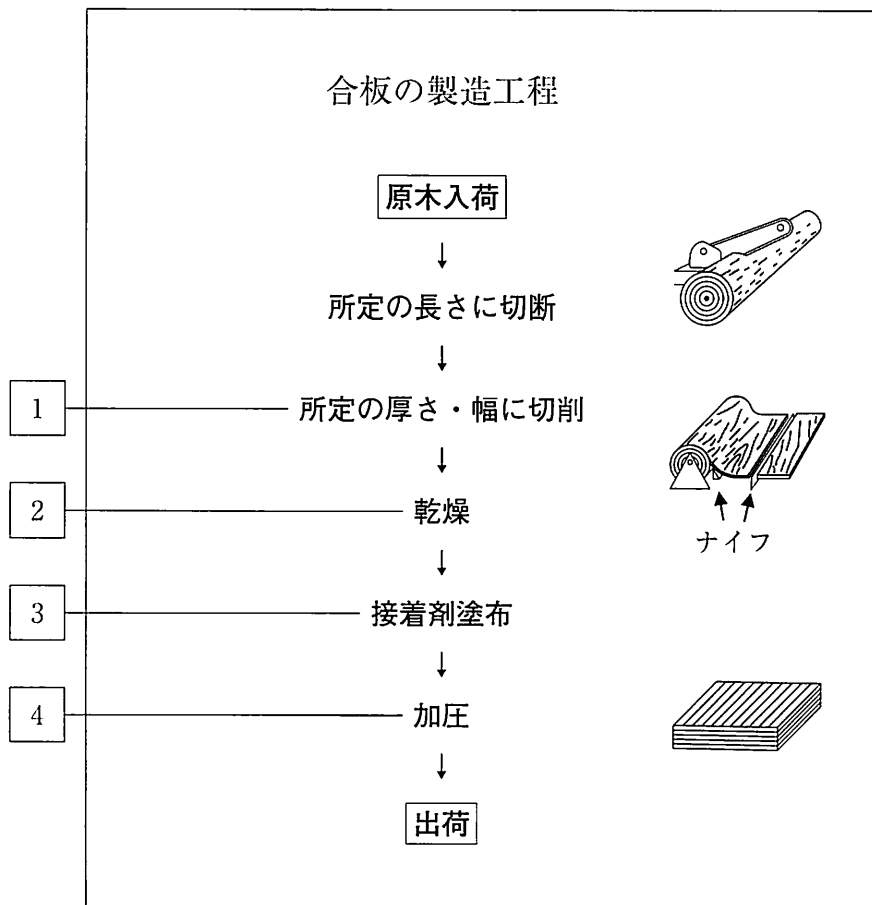
(「2軸で目的をとらえロス防止を図れ」『日経情報ストラテジー』2009年10月号 (No. 210)

日経BP社 を参考に作成)

3 番

先生が授業で、合板の作り方について話しています。この先生の話によると、技術が進歩したのは図のどの工程ですか。

3



4 番

女子学生と男子学生が、統計資料を見ながら話しています。この男子学生が注目しているのはどれですか。

4

外国人旅行者の訪日目的 (%)				
目的 \ 国籍	A国	B国	C国	D国
観光・休暇	62.3	18.6	14.3	71.8
業務・その他	37.7	81.4	85.7	28.2
合計	100	100	100	100

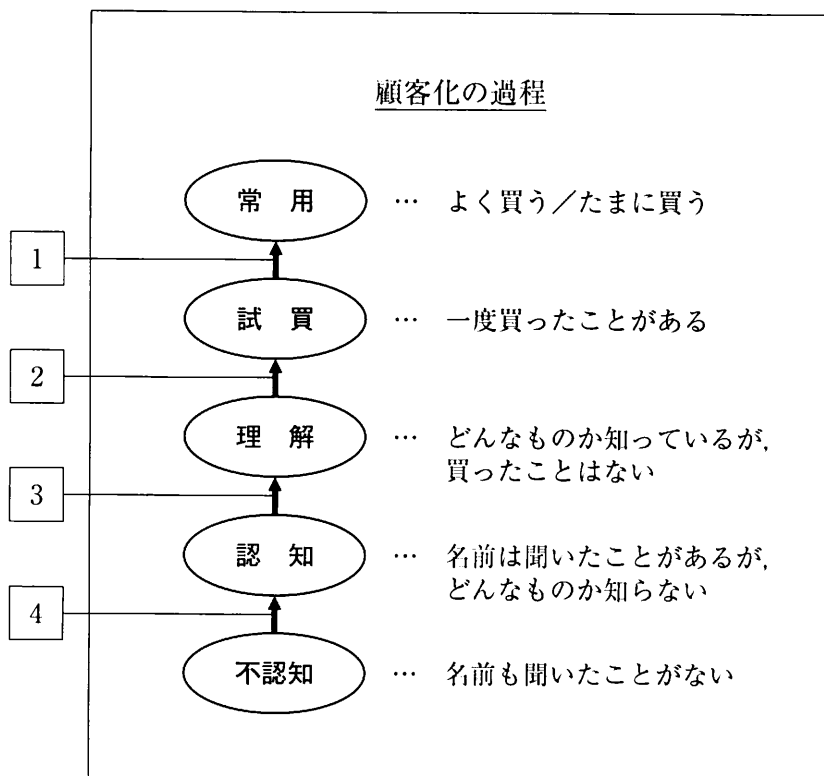
観光目的の外国人旅行者の訪日回数 (%)				
回数 \ 国籍	A国	B国	C国	D国
初めて	32.4	45.6	62.3	21.6
2回以上	67.6	54.4	37.7	78.4
合計	100	100	100	100

(国際観光振興機構「JNTO『訪日外国人旅行者調査2003-2004』の結果まとまる」
<http://www.jnto.go.jp/info/houdou/pdfs/050329houdou.pdf> を参考に作成)

5 番

先生がマーケティングの授業で話しています。この先生が挙げる例での変化は、資料のどの部分にあたりますか。

5



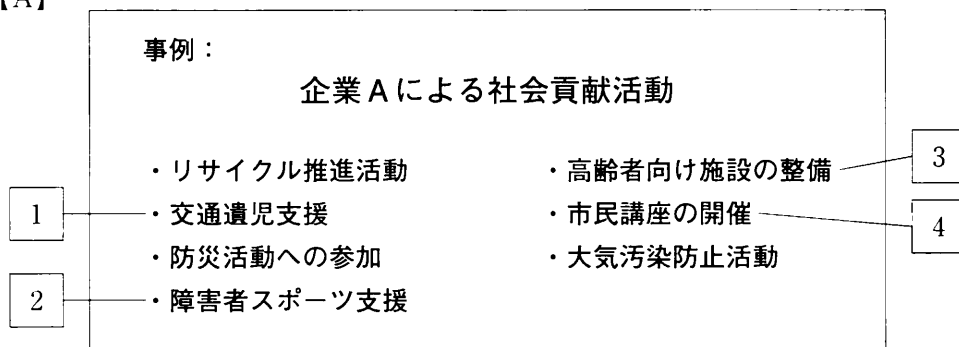
(田村正紀『ブランドの誕生』千倉書房 を参考に作成)

6 番

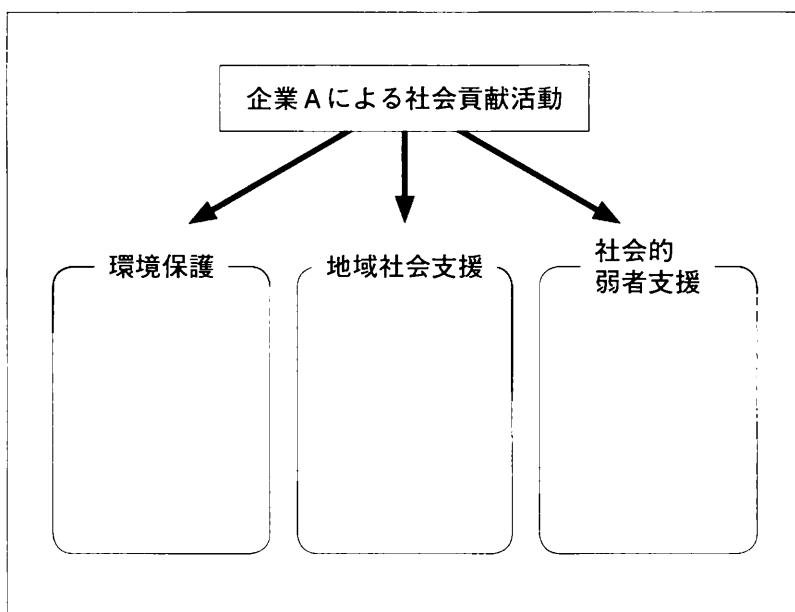
先生が「情報の図式化」について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

6

【A】



【B】

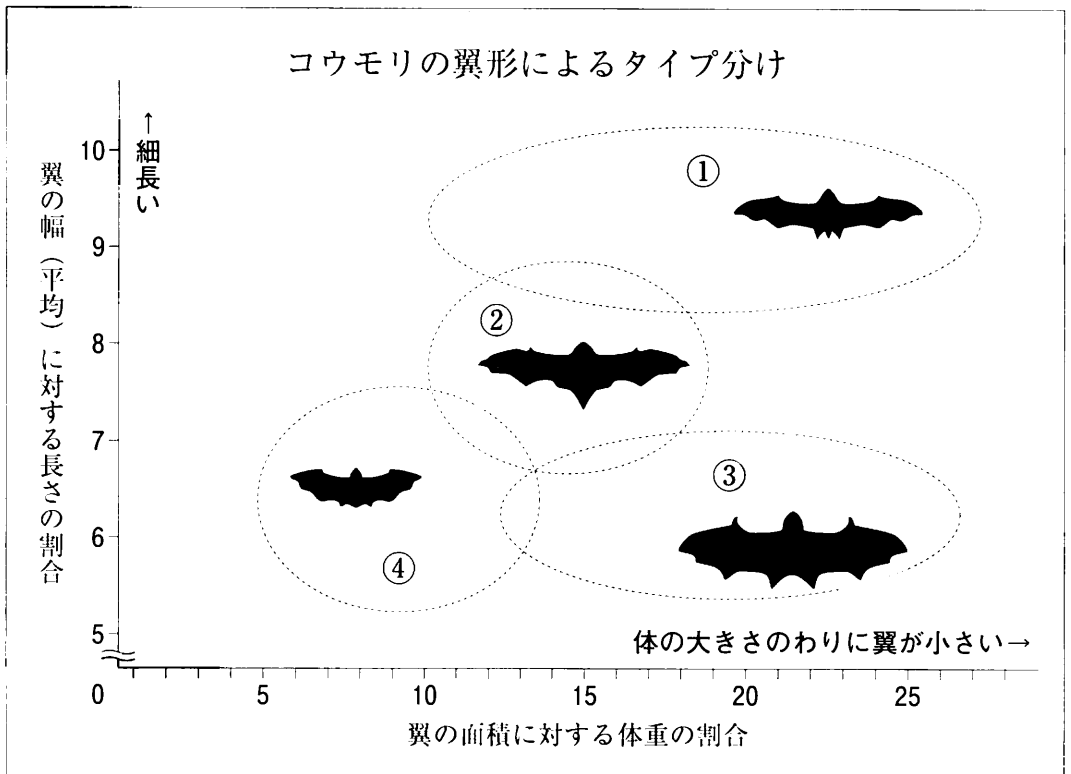
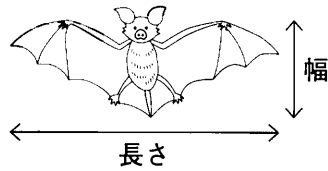


7 番

先生がコウモリという動物について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

7

コウモリ



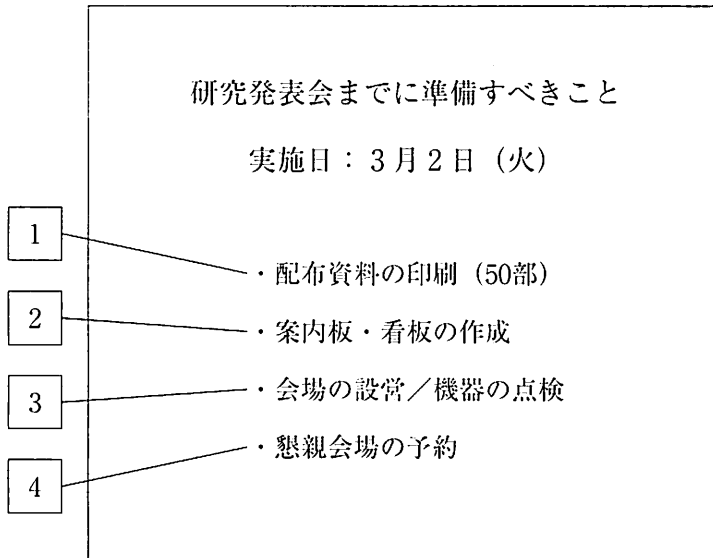
(船越公威他『コウモリのふしぎ』技術評論社 を参考に作成)

- 1. ①
- 2. ②
- 3. ③
- 4. ④

8 番

男子学生と女子学生が研究発表会の準備について話しています。この二人が今週これからすることはどれですか。

8



9 番

先生が環境学の授業で、新しいプラスチックについて話しています。この先生が研究しているプラスチックは、図のどれにあてはまりますか。

9

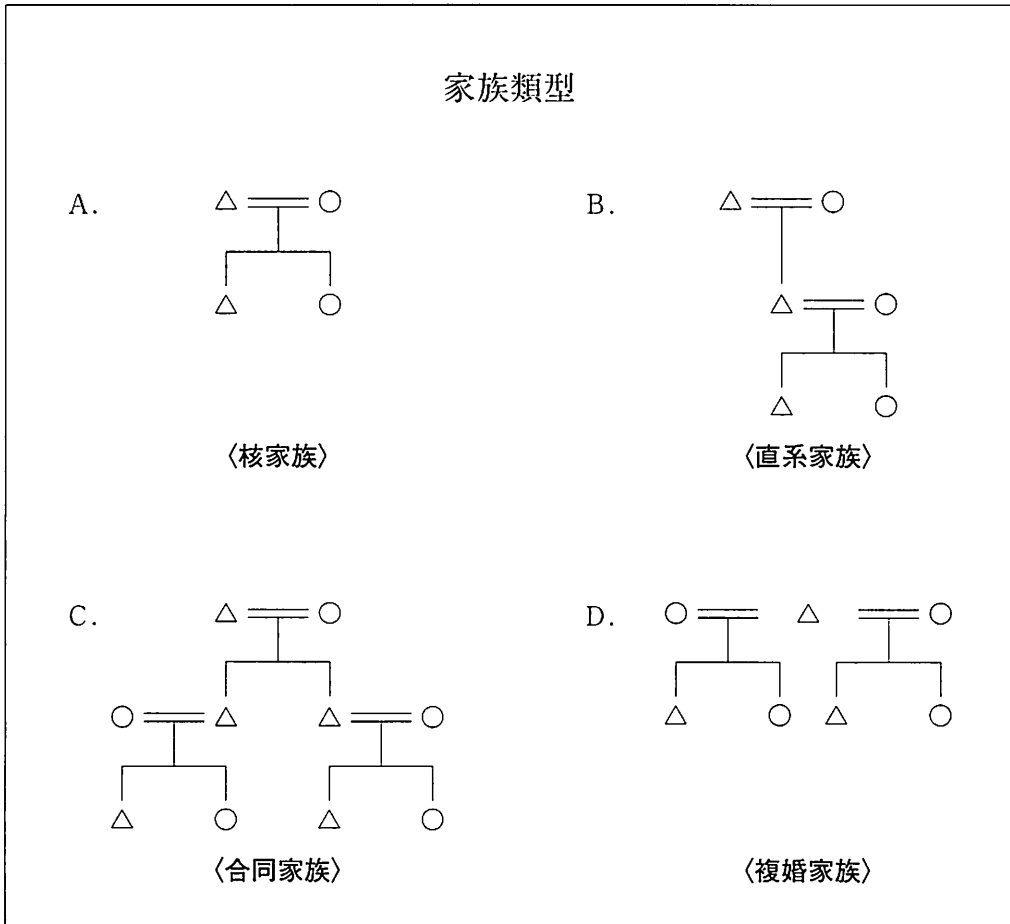
自然にかえるプラスチックの用途		
分解方法	用途	製品例
自然の中で分解	農林・水産用資材	苗ポット, 漁業用の網など
	土木・建材用資材	工事用保水シートなど
	野外レジャー製品	ゴルフや釣りなどで使用される使い捨て製品
	水処理用資材	洗剤など
肥料化処理 によって分解	食品包装	食品包装フィルム, 生鮮食品のトレーなど
	日用品	ごみ袋, 紙おむつなど

(土肥義治「生分解性プラスチック」数研出版編集部編『フォトサイエンス化学図録』数研出版を参考に作成)

10番

先生が授業で、家族構成の図を示しながら説明しています。この先生がする質問の答えはどれですか。

10



(植野弘子「第2章 個人・家族・社会」)

波平恵美子編『系統看護学講座 基礎9 文化人類学』医学書院 を参考に作成)

1. BとC
2. CとD
3. AとBとC
4. BとCとD

11番

先生が、健康ビジネスについて話しています。この先生が今後ビジネスの対象とすべきだと考えているのは、表のどの部分の人たちですか。

11

健康度の4段階	
健康度	健康状態
健康度 4	健康状態は良好 ・健康管理を心掛けていて、自分なりの健康管理法をもっている
健康度 3	健康状態は普通 ・慢性的ではないが、ときどき体の不調がみられる ・健康管理はしているが、十分ではない
健康度 2	やや不健康な状態 ・慢性的な体の不調がみられる ・生活習慣や健康管理に見直しが必要
健康度 1	健康状態はかなり悪い ・医療機関での治療が必要な体の不調がみられる

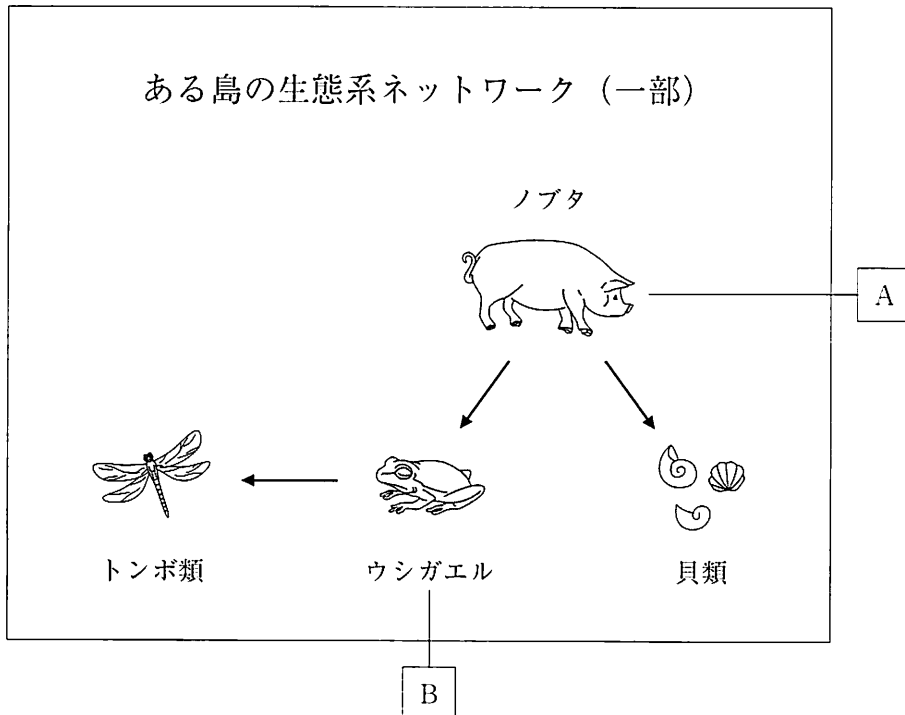
(高橋千枝子『図解 健康業界ハンドブック』東洋経済新報社 を参考に作成)

1. 健康度 4 と健康度 3
2. 健康度 3 と健康度 2
3. 健康度 2 と健康度 1
4. 健康度 4 と健康度 1

12番

先生がある島の生態系について説明しています。この島では、固有の生物を守るために、どのような対策をとりましたか。

12



(大河内勇「小笠原諸島を外来種から守るには」『科学』第81巻第8号 岩波書店 を参考に作成)

1. Aのみ排除した
2. Bのみ排除した
3. A、Bの順に排除した
4. B、Aの順に排除した

——— このページには問題はありません。 ———

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

— ヌ モ —

— ヌ 毛 —

— ヌ 毛 —

平成24年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記 述 問題解答例を339, 340ページに掲載

読解			
問	解答欄	正解	
I	1	3	
II	2	1	
III	3	4	
IV	4	3	
V	5	3	
VI	6	4	
VII	7	3	
VIII	8	3	
IX	9	4	
X	10	3	
XI	問1	11	1
	問2	12	4
XII	問1	13	3
	問2	14	4
XIII	問1	15	1
	問2	16	2
XIV	問1	17	2
	問2	18	2
XV	問1	19	1
	問2	20	2
XVI	問1	21	2
	問2	22	1
XVII	問1	23	3
	問2	24	4
	問3	25	1

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	3	13番	13	3
2番	2	3	14番	14	3
3番	3	1	15番	15	4
4番	4	4	16番	16	3
5番	5	2	17番	17	4
6番	6	4	18番	18	3
7番	7	1	19番	19	2
8番	8	2	20番	20	1
9番	9	3	21番	21	4
10番	10	1	22番	22	2
11番	11	2	23番	23	4
12番	12	4	24番	24	1
			25番	25	3
			26番	26	2
			27番	27	2

「記述」問題解答例 ①

現在、	発展途上国	を中心に	人口の急激な増	20
加や	経済発展等	で水の	使用量が大幅に増加し、	40
それ	による水不足	が深刻化	している。地域に	60
よっ	ては、生活に	必要な	飲み水の質や量が確	80
保で	きないところ	もある。		100
例え	ば、アフリカ	等では	水不足が慢性化し、	120
飲	み水として	不適切な	水を飲むことで、免	140
力の	弱い子ども	たちが	命を落としている。ま	160
た、	工場や家庭	からの	排水による水質汚染	180
大き	な問題にな	っている	地域もある。	200
今後、	水資源の	問題は、	ますます深刻化す	220
るこ	とが予想	される。	もはや個々の国ではな	240
く、	地球レ	ベルで	取り組むべき課題であり、	260
国と	国の協力	体制が	必要であらう。上下水道	280
の整	備など、	安全な	水を供給するための環境	300
整備	に実績の	ある国	は、蓄積した技術や知識	320
を水	問題に	悩む国	に提供するべきである。ま	340
た、	海水や	汚水を	飲み水として使用できるレ	360
ベル	にまで	浄化す	る、ろ過技術の開発も重要	380
だ。	その技	術開発	のために、国境を越えた研	400
究体	制を作	り、成	果を共有できるようにする。	420
この	ような	国家間	の連携による持続可能な	440
水資	源確保	の仕組	みを早急に作りあげること	460
が必	要であ	ると考	える。	480
				500

「記述」問題解答例 ②

私	た	ち	が	生	活	し	て	い	く	上	で	、	ス	ト	レ	ス	は	、	20	
避	け	る	こ	と	が	で	き	な	い	も	の	で	あ	る	。	適	度	な	ス	40
ト	レ	ス	な	ら	、	そ	れ	を	生	活	や	勉	強	の	活	力	の	も	と	60
に	す	る	こ	と	も	で	き	る	。	し	か	し	、	過	度	な	ス	ト	レ	80
ス	は	、	心	身	の	健	康	に	害	を	及	ぼ	す	こ	と	が	あ	る	。	100
例	え	ば	、	強	い	ス	ト	レ	ス	に	よ	っ	て	、	お	腹	が	痛	く	120
な	っ	た	り	、	継	続	的	な	ス	ト	レ	ス	に	よ	っ	て	、	い	ら	140
い	ら	し	た	り	、	う	つ	病	に	な	っ	た	り	す	る	。				160
そ	こ	で	、	健	康	に	暮	ら	す	た	め	に	は	、	ス	ト	レ	ス	180	
と	上	手	に	つ	き	あ	う	こ	と	が	必	要	に	な	っ	て	く	る	。	200
ま	ず	は	、	自	分	に	か	か	る	ス	ト	レ	ス	を	自	覚	す	る	こ	220
と	が	重	要	だ	。	適	度	な	ス	ト	レ	ス	で	あ	れ	ば	、	そ	れ	240
を	利	用	し	て	、	よ	り	高	度	な	こ	と	に	挑	戦	す	れ	ば	い	260
い	。	だ	が	、	そ	の	ス	ト	レ	ス	が	強	く	な	っ	た	り	、	長	280
引	く	よ	う	な	ら	、	ス	ト	レ	ス	解	消	に	努	め	た	ほ	う	が	300
い	い	。	一	番	の	解	消	法	は	、	何	か	に	夢	中	に	な	る	こ	320
と	だ	。	運	動	で	も	、	旅	行	で	も	、	お	し	ゃ	べ	り	で	も	340
い	い	。	ス	ト	レ	ス	が	か	か	る	状	態	か	ら	離	れ	ら	れ	る	360
こ	と	を	探	し	、	実	行	す	る	。	こ	の	よ	う	な	工	夫	を	し	380
て	ス	ト	レ	ス	と	つ	き	あ	う	こ	と	で	、	健	康	に	暮	ら	す	400
こ	と	が	で	き	る	と	思	う	。											420
																				440
																				460
																				480
																				500

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
40点	
35点	(レベルB) 課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
30点	
25点	(レベルC) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20点	
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA、B、Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

*0点 (NA) に該当する答案は以下のとおりである。

- 白紙のもの。
- 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
- 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) について書かれているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
- 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの (問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している、あるいは自己紹介で終わっている等)。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至る十分な理由があると判断されたもの。